

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.0</b>	0.15	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.3</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.5</b>	0.50	
1 室内騒音レベル		室内騒音予測結果による。35 (騒音レベル) 40		3.0	1.00	4.0	0.50	
2 設備騒音対策				-	-	3.0	0.50	
<b>1.2 遮音</b>				<b>1.0</b>	0.50	<b>3.7</b>	0.50	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		コンクリート壁 t=200 Dr-50		3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		コンクリート床 t=200 Lr-45		3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		コンクリート床 t=200 Lr-50		3.0	-	4.0	0.20	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00	
1 室温				3.0	0.63	-	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				3.0	0.38	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00	<b>3.6</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>4.2</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.50	
1 昼光率		Dタイプ(LD)U=9.2 エントランスU=4.4		5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御		カーテンレールと庇の設置がある。		2.0	1.00	4.0	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.2</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		F を使用。ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>2.3</b>	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>3.0</b>	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.9</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>4.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動円滑化基準を満たしている。		4.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理機能の確保		清掃用具保管のため管理倉庫を設置している。		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.31	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.1</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		品確法劣化対策等級3		5.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型便器の設置	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	LANケーブル、光ケーブルを採用、浸水性の危険なし。	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2960。	3.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出		外構面積の50%以上を緑化。既存樹木の保存。	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー等級4	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		潜熱回収型給湯器の使用。	4.8	0.40	-	-	4.8
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!		-	-	
		集合住宅の評価	4.8		-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			4.0	0.15	-	-	4.0
1.1	節水	節水型便器の設置	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		4.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水貯留槽の雨水を浄化後、植栽散水として再利用する。	4.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	軽鉄下地+仕上材。	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクル CO2 排出率72%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	住戸数以上の駐輪場の設置	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	